

令和元年度亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会 会議録（概要版）
（第1回会議）

1. 日時

令和元年10月17日（木） 14:00～15:30

2. 場所

亀岡市役所 別館3階 会議室

3. 会議次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 協議事項
 - (1) 亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について
 - (2) 地域密着型サービス事業者の公募について
 - (3) 高齢者等実態調査について
 - (4) その他
- 4 閉会

4. 配布資料

- ・資料1 亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について
- ・資料2 地域密着型サービス事業者の公募について
- ・資料3 高齢者等実態調査について
- ・当日資料 「自分らしく生きるためのエンディングノート」 チラシ
「亀岡市医師会市民公開講座」 チラシ
「かめナビ～亀岡医療・介護情報マップ～」 チラシ
「元気アップ講座」 チラシ
「認知症カフェみのり」 リーフレット

5. 出席者（敬称略）

- ・松田 美智子【会長】 天理大学
- ・吉中 康子（欠席） 京都先端科学大学
- ・飯野 茂【副会長】 亀岡市医師会
- ・天野 浩 亀岡市歯科医師会
- ・岩田 庄司（欠席） 亀岡市薬剤師会
- ・永田 一夫 社会福祉法人 亀岡市社会福祉協議会
- ・中川 國彦（欠席） 亀岡市民生委員児童委員協議会
- ・平井 峰子（欠席） 公益社団法人 亀岡市シルバー人材センター

- ・細川 景子 社会福祉法人 利生会
- ・前渕 功 社会福祉法人 友愛会
- ・西村 隆美 亀岡ボランティア連絡協議会
- ・山木 茂(欠席) 亀岡市老人クラブ連合会
- ・法貴 雅男 亀岡市自治会連合会
- ・八木 愛子 市民代表
- ・仲 奈々子(欠席) 市民代表
- ・四方 啓子(欠席) 京都府南丹広域振興局

<事務局>

- ・ 亀岡市 健康福祉部 高齢福祉課、健康増進課

6. 主な協議内容

(事務局) 【開会】

【開会挨拶】

(事務局)

- ・ 委員紹介、欠席者のお知らせ
- ・ 亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会の役割について

協議事項(1) 亀岡市いきいき長寿プランの進捗状況について

(事務局資料説明) 資料1

【質疑応答】

(委員)

- ・ 高齢者福祉サービスの実施状況のことで、まず13ページの高齢者生活支援事業の中の生活援助事業利用助成金というのがありますよね、これは助成金だと思うのですが、単位が利用日数という表示になっていますがこれはどういう意味でしょうか。

(事務局)

- ・ 表示は利用日数という形にしているのですが、生活援助サービスにつきましては、1日当たり単価いくらという形でお支払いいただいて、訪問のサービスや買い物支援等、平成30年度中の利用件数が359件となっています。

(委員)

- ・ 在宅の家族介護慰労金については、申請要件が厳しくて、なかなか申請者数が少ないのが各自治体共通の実態だと思うのですが、在宅高齢者介護激励金については、平成28年度47人で29年度38人だったのが1人に減っていますが、何か背景があるのでしょうか。

(事務局)

- ・ 在宅高齢者介護激励金については、亀岡市においては、主な条件として、高齢者及び介護者が非課税世帯に属していて、要介護3以上の高齢者を介護している方を対象としていましたが、平成30年度からはこれらに加えて、助成金の申請前1年間介護サービスの利用をせずに在宅で介護された方という要件が加わり厳しくなったため、助成人数が減少しました。

(委員)

- ・ 後期高齢者の医療費の負担は原則1割ですが今後増加していくとすると、医療費だけでも大きな出費になって、それと合わせて介護の負担も増加してしまうと、介護サービス利用者の減少が心配です。デイサービスやデイケアを実施しているところはある程度メリットがないとできない仕事ですので、そういうところがサービスをやめていったときに、受け皿が減っていくのではないかと、これは亀岡だけではなく全国で同じような傾向があるので、国はあっさり決めてしまいますけれども、なかなか日本人は抵抗する人が少ないですので、本当に簡単に変えていった良いものかと危惧するのですが、もう決まっているのでしょうか。

(事務局)

- ・ 国の方でも全世代型の社会保障制度改革が議論されているところでして、2040年の高齢化を見越した中で、税改革も含めて医療費の負担増加については引き続き審議されておりますし、それについては介護保険の側としましても注視すべきだと考えております。介護保険サービスの充実については医療のことも関係していますが、福祉人材確保というような問題もあり、国の施策と連携しながら国・府と協議のうえ市としても出来ることを考えていかなければいけないなと思っております。

(委員)

- ・ 薬局で売っているような薬は保険が効かなくなってくるとも言われていますし、75歳まで頑張って日本をここまでの国にした人たちなので、そういう方々を大事にしてあげたいと思うんです。

協議事項(2) 地域密着型サービス事業者の公募について

(事務局資料説明) 資料2

(委員)

- ・ 説明会には2法人の参加があったということで、小規模多機能型居宅介護施設と認知症対応型共同生活介護施設は併設が望ましいという経営ですね、要望はすごくよく分かるんです。これについても経営する側は非常に大変だと理解しているんですが、ここでどうにかなることでもないですがこのようなことも見直していかないといけないですね。

協議事項（３）高齢者等実態調査について

（事務局資料説明）資料３

【質疑応答】

（委員）

- ・ この調査の対象者、サンプルの抽出方法はどのようにされるのでしょうか。
- ・ 可能であれば二つ目の在宅介護実態調査については、最低５００以上はサンプルにしてほしいんですが、目的の中には、家族の介護離職の防止がありますが、在宅の家族介護者がいる世帯のピックアップというのは正確にできるのでしょうか。国の基準に沿ってということになるとは思いますが、そういうことを踏まえてどのように抽出するのか教えてください。

（事務局）

- ・ 在宅介護実態調査については、介護サービスを継続して利用されており、介護認定を更新される方で訪問調査を実施する中から抽出をするという形になっております。
- ・ 資料に接続方式という言葉が資料に記載されているのですが、アンケートを実施したものと、訪問調査の結果のデータを合わせた形で見ていくという方法をとらせていただきます。

（委員）

- ・ ９０歳、１００歳近くになってきた場合その息子も高齢者になってきますよね、もしかしたら後期高齢者になってくるかもしれないし、それをどう考えていくかということがまた問題になってくると思います。テレビのニュースでも介護に疲れて、罪を犯したということもあり、子どもの虐待に関してはすごくナーバスになっていますが、高齢者に対してもそういう配慮が今後必要になるのではないかと思います。

（会長）

- ・ 御意見として賜ったということによろしいでしょうか。これまでの委員会の経緯を踏まえて市町村特別給付の件については、まずは検討していくということによろしいですかね。
- ・ 事務局の方から説明がありました実態調査の手法については、基本の調査項目等は第７期をベースとしていくと思いますが、今後国から項目の追加もありうると思いますので、最終的な調査内容については、私と事務局で調整させていただくということによろしいでしょうか。

（委員了承）

協議事項（４）その他

（事務局）配布チラシ、イベント紹介

（事務局）【閉会】

（１５：３０終了）